



過ごしやすい季節になりました。すっかり秋が深まり、夜空を見上げると綺麗な月様が見えるようになりました。10月からは修学旅行や校外学習が予定され、子どもたちは事前学習で新幹線について調べたり、行き先の地図を見たりと学習を深めています。校外での販売やさまざまな交流も行われ、体験や経験を通して人との関わりも深めています。



中区役所で販売・清掃を実施

中区役所に高等部生がバスに乗って販売と清掃に行ってきました。A部門とB部門の生徒と一緒に校外で販売するのは初めての取り組みでした。日頃から校内で作業学習を一緒に行っているため、チームワークよく接客を行うことができました。また、清掃班は役所内の清掃の奉仕活動を行いました。一般の方が利用されている場所での販売や清掃は緊張しますが、公共の場で学習したことで、「社会で働く一員になる」ということを具体的にイメージし考える機会になりました。製菓班が製造した新作クッキーやドーナツはあっという間に完売しました。また、農業班が暑い中、丹精込めて育てた野菜も大好評でした。校内にも様子を同時配信し、直接お客様とやりとりをし、「どんな色があったらいいですか?」「どんな味がいいですか?」などのやりとりをしました。地域の皆さま、ご協力いただきありがとうございました。次回の販売は2月に、校内での「ひがしマーケット」を予定しています。



たまごクラブとの交流

竜之口小学校区の親子クラブ「たまごクラブ」の皆さんと本校で交流しました。体操や魚釣りゲームを一緒に楽しみ、すっかり仲良くなりました。来年もお待ちしています。



環太平洋大学生が本校を見学

連携協定を結んでいる環太平洋大学から教員を目指している次世代教育学部教育経営学科1年生71名の学生さんが来校され、校内を熱心に見学されました。来年の春には実習に来られる予定です。



秋の交通安全啓発運動実施

毎年恒例の「秋の交通安全啓発運動」を9月26日に学校前の交差点で行いました。地域の古都学区交通安全対策協議会の方や警察署交通課の方と一緒に高等部の生徒たちが、信号待ちをしている車一台一台に啓発チラシを配布し、交通安全を呼びかけました。



岡山東支援学校は、「交流及び共同学習」を大切にしています！

「交流及び共同学習」のよさは？

お子さまにとっては、小中学校での教科の学習や学校行事などとおして、多様な考え方に触れ、コミュニケーションの力を高めたり、お互いの個性の理解を深めたりする学びの場となります。また、より多くの仲間と活動をとともにすることにより、社会性を身に付けることも期待されます。

1 「学校間交流」（東支援の近隣の学校との交流）

岡山東支援学校では、A小が古都小学校、B小が竜ノ口小学校、A中・B中が旭東中学校、A高・B高が東岡山工業高等学校と学校間交流を行っています。

互いの学校を行き来したり、オンラインでつながったりしながら、様々な活動を楽しんでいます。



2 「居住地校交流」（自宅の近隣の小中学校との交流）

「居住地校交流」は、小中学部のお子さまが、自身の住んでいる地域の小中学校で、その学校に在籍する子どもたちとともに、学習を行う活動です。

交流及び共同学習のよさに加えて、自分が住んでいる地域の同年代の子どもたちとともに学ぶ経験を通して、住んでいる地域で人間関係を広げていくことも期待できます。

「居住地校交流」のイメージ

いきなり小中学校に行くというのは、ハードルが高い場合もあります。希望を受け、相談しながらお子さまに合わせて進めています。

Pattern 1

交流籍を置く（地域の小中学校の友だちに名前を知ってもらう）

実際に交流するわけではなく、まずは、小中学校の子どもたちに、「この学校（クラス）には、〇〇さんという友だちがいるんだよ。今は東支援学校で学んでいるよ。お店や公園で会ったらなかよくしてね」などのように伝えて、知ってもらいます。

Pattern 2

間接交流する（地域の小中学校の友だちと作品やお手紙でつながる）

お手紙やビデオレター、作品紹介などを通して、地域の子どもたちとつながる活動をします。また、東支援学校のことを知ってもらうため、東支援学校からのおたよりを小中学校の子どもたちに読んでもらうなどの活動をすることもあります。



学級活動ですごく遊び
（地域の小学校にて）

Pattern 3

直接交流する（地域の学校で活動する）

保護者の方に協力していただき、保護者と担任が見守る中、お子さんが地域の小中学校に行って同年代の子どもたちと一緒に様々な学習活動を行います。